

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	防犯事業			事務事業コード	6142-1
担当	総務 部	総務 課	総務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	-
	施策	4.防犯
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 防犯施策等により、安全で住み良い地域社会が形成されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・区の要望に基づき、防犯灯の新設等工事を実施する。 ・維持管理委託を継続実施する。 ・市が主導となり、市民と協力して、安全で安心な住みよい地域づくりを目指すため、佐久市防犯協会を設置(犯罪のない社会づくり、市民の協力による防犯思想の高揚と自主防犯の普及が設置目的)しており、その事務局の事務を執り行う。 ・佐久警察署管内の各地域の防犯団体の連携協調を図り、安全で住みよい地域づくりに貢献するため組織した佐久防犯協会連合会へ負担金を交付する。会長は佐久市長が選任されている。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	32,953		29,495		29,317	
	人件費	1.15 人	8,050	1.15 人	7,820	1.15 人	7,820
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	8,050		7,820		7,820	
	総事業費	41,003		37,315		37,137	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	41,003		37,315		37,137	
	財源合計	41,003		37,315		37,137	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区要望に基づく防犯灯の新規設置（59基） ・防犯灯のR4年度以降の維持管理方法の検討 ・佐久防犯協会連合会への負担金の支出 ・警察署からの依頼による特殊詐欺防止の啓発（13件） ・佐久市防犯協会の総会の開催（書面開催）
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
防犯灯新設等工事 件数(旧佐久地区)	件	実績	57	59	100
		目標	100	100	
	%	達成率	57	59	
成果指標	単位				
防犯灯要望達成率	%	実績	77	70	100
		目標	100	100	
	%	達成率	77	70	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	区からの防犯灯の設置については、設置個所の必要性を精査し、要望を満たした設置をすることが概ね出来ている。(84基設置要望に対し、59基の設置)
官民連携の 可能性	方法	<説明>
	市が実施する 必要がある	防犯事業は、自治事務であり市が実施すべき事務である。 市内は佐久市防犯協会、及び佐久警察署管内には佐久防犯協会連合会が組織されている。市においても安心安全な市民生活を確保するため、これらの活動に対し、積極的に関与していかなければならない。
事業の 課題	<p>防犯灯の設置は、犯罪抑止につながる重要な対策であることから新設、交換等について迅速な対応が必要である。</p> <p>防犯灯の設置個所については、原則、中電柱及びNTT柱であるが市の施策として無電柱化も推進している為、無電柱の地域の防犯灯の設置方法について関係部署と十分な協議をしていく必要がある。</p> <p>防犯対策として地域から防犯カメラの設置を望む声もあるものの、設置場所やプライバシーの保護をはじめとする様々な課題があることから対応については慎重に行わなければならない。</p>	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の 方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の 取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯事業については、令和4年度よりリース事業を実施し、一元管理を行うことで迅速な対応に取り組む。 ・無電柱化を進める地域において、設置方法についてその都度関係部署等と協議を行う。 ・警察をはじめとする関係団体と引き続き連携を行い、地域の防犯体制の強化に取り組む。 		

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	臼田防犯事業			事務事業コード	6142-2
担当	総務部	臼田支所	総務税務係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	-
	施策	4.防犯
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 防犯施策等により、安全で住み良い地域社会が形成されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・区の要望に基づき、防犯灯の新設及び修繕を実施する。 ・防犯指導員会を開催する。 ・防犯パトロール、防犯診断、街頭啓発などの地域防犯活動を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	1,422		1,259		600	
	人件費	0.65 人	4,550	0.65 人	4,420	0.65 人	4,420
		195 時間	211	145 時間	174	145 時間	174
	人件費合計	4,761		4,594		4,594	
	総事業費	6,183		5,853		5,194	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	6,183		5,853		5,194	
	財源合計	6,183		5,853		5,194	

令和 3 年度 実施内容	・ 防犯灯の新設及び修繕等は、区の申請等に基づき新設8箇所、修繕等15箇所を実施した。
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
防犯灯新設、 修繕件数	件	実績	33	23	
		目標	50	40	10
	%	達成率	66	58	
成果指標	単位				
臼田地区防犯協会 役員会開催	回	実績	2	0	
		目標	2	2	2
	%	達成率	100	0	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯については、ポール柱を新設する工事が多く1箇所当たりの単価が高かったこと、また中電やNTTの電柱への共架ができない箇所があったこと等から、例年と比較すると設置件数が減少したが、予算の範囲内で施工することができた。 ・ 臼田地区防犯協会役員会は、コロナ感染予防のため予定どおり開催することができなかったが、臼田地区で開催されたイベントの警戒等を実施することができた。
官民連携の 可能性	方法	<説明>
	市が実施する 必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯事業は自治事務であり、市が関与すべき事業である。市民の安全安心な暮らしを堅持するため、防犯協会、警察、各区等との連携を図り防犯対策を推進していく必要がある。
事業の 課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中電やNTTの電柱の状況により、防犯灯が設置できない場合がある。

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の 方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和	年度	～	令和	年度
今後の 取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から新設する防犯灯はリースとなり発注方法がこれまでと異なるため、適正な事務処理の方法を習得する必要があるほか、12月以降の工事となるため、年度内にしゅん工するよう早期発注に努める必要がある。 ・ 臼田新小学校の通学路への防犯灯設置については、総務課の予算で実施することとなるが、地元区との連絡調整等を当係で対応する必要がある。 						

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	浅科防犯事業			事務事業コード	6142-3
担当	総務 部	浅科支所	総務税務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	-
	施策	4.防犯
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 防犯施策等により、安全で住み良い地域社会が形成されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・区の要望に基づき、防犯灯の新設及び修繕を実施する。 ・防犯指導委員会の開催。 ・防犯パトロール、防犯診断、街頭啓発などの地域防犯活動を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,100	0.30 人	2,040	0.30 人	2,040
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,100		2,040		2,040	
総事業費		2,100		2,040		2,040	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,100		2,040		2,040	
	財源合計	2,100		2,040		2,040	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区からの申請に基づき、防犯灯の新設を9本、修繕を4箇所実施した。 ・地区防犯指導員会を画面開催し、指導員同士の防犯活動状況の共有を図ったうえで、個々の防犯パトロールや街頭指導、年末特別警戒に伴う各戸訪問などの地域防犯活動を行った。
-----------------	---

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
防犯灯新設・修繕件数	件	実績	23	13	
		目標	5	5	5
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
防犯灯要望達成率	%	実績	56.25	77.78	
		目標	100	100	100
	%	達成率	56.25	77.78	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・区長を申請者とした各区からの防犯灯設置要望は、防犯という目的を踏まえた周辺状況の調査を実施し、申請者と連絡調整のうえ、必要な場所への確に設置することができた。 ・防犯指導員等による防犯パトロールの定期的な実施や年末特別警戒の各戸訪問により、住民の防犯意識を高めることができた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯事業は、住民の安全・安心な暮らしを維持するための自治事務である。今後も防犯協会や警察署等の組織と連携強化を図りながら、事業を進めていく必要がある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺等に対する取り組み 増加傾向にある特殊詐欺や悪徳商法による被害を未然に防ぐ対策の推進に取り組む。 ・地域防犯活動の活発化 地域、学校、PTA、企業、警察、行政等の地域コミュニティの連帯感を高め、地域全体で防犯に取り組む。 	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度	～	令和 年度
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・各区の防犯指導員を主体に地域コミュニティの連携を深め、多様な媒体を活用した情報の発信を行うなど、より高い防犯意識の向上ができる取り組みを行う。 				

令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	望月防犯事業			事務事業コード	6142-4
担当	総務 部	望月支所	総務税務 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(定型)	法定根拠			
管理方法	簡易				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	6.暮らしを守る安心と安全のまちづくり
	節	-
	施策	4.防犯
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 防犯施策等により、安全で住み良い地域社会が形成されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・区の要望に基づき、防犯灯の新設及び修繕を実施する。 ・防犯指導委員会の開催 ・関係機関と協力し、防犯掲示物の掲示、防犯パトロール、街頭啓発など地域防犯活動を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	1,676		1,431		600	
	人件費	0.50 人	3,500	0.50 人	3,400	0.50 人	3,400
		192 時間	0	192 時間	230	192 時間	230
	人件費合計	3,500		3,630		3,630	
	総事業費	5,176		5,061		4,230	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	5,176		5,061		4,230	
	財源合計	5,176		5,061		4,230	